

【重要】企業の「社長・役員」になりすました詐欺メールにご注意ください

企業の「社長」や「役員」になりすました詐欺メールを送信し、従業員に「お金を振り込ませる」「SNSのグループを作成させる」などの指示を行う詐欺（いわゆる CEO 詐欺※）が全国で複数確認されており、南日本銀行の役員になりすました詐欺メールも確認されています。

南日本銀行および南日本銀行グループがこのような連絡を行うことは、決してございませんのでくれぐれもご注意ください。

※社長など最高経営責任者であるチーフ・エグゼクティブ・オフィサー（Chief Executive Officer「CEO」）になりすまして従業員などを騙し、金銭などを詐取する詐欺手口

1. 詐欺メールに使われる手口

- LINE グループの作成など、外部サービスへ誘導する。
- 経営者や上司になりすまし、「急ぎで対応してほしい」と振込や情報提供を求める。
- 本物に似せたメールアドレスを悪用して正規の連絡に見せかける。

【事例（LINE グループ作成を依頼する詐欺）】

件名：社名を記載した偽メール

差出人：社長を装った偽アカウント

内容例：お疲れ様です。

業務利用のため、新しいLINE グループを作成してください。

完了したら招待 QR コードを返信願います。

代表取締役社長 ○○

⇒ LINE グループの QR コードを返信すると犯人から振込を要求されます。

※ 会社では通常使用しない外部 SNS への誘導は、要注意のポイントです。絶対に指示に従わないよう注意してください。

2. 不審なメールを受け取った場合

- 差出人のメールアドレスを必ず確認する。
- 内容に不自然な点があれば、正当な相手（自社の社長等）に直接電話で確認する。
- リンクを開かない、添付ファイルをダウンロードしない。
- 個人情報を送らない。

【本件に関するお問い合わせ】

コンプライアンス統括部 AML 金融犯罪対策グループ（担当：永田、川迫）

本件に関するお問い合わせ窓口：099-226-2713

【受付時間】 平日9:00~17:00

別添の「鹿児島県警察本部」発出の「かごしまサイバー通信」も合わせて参照ください。



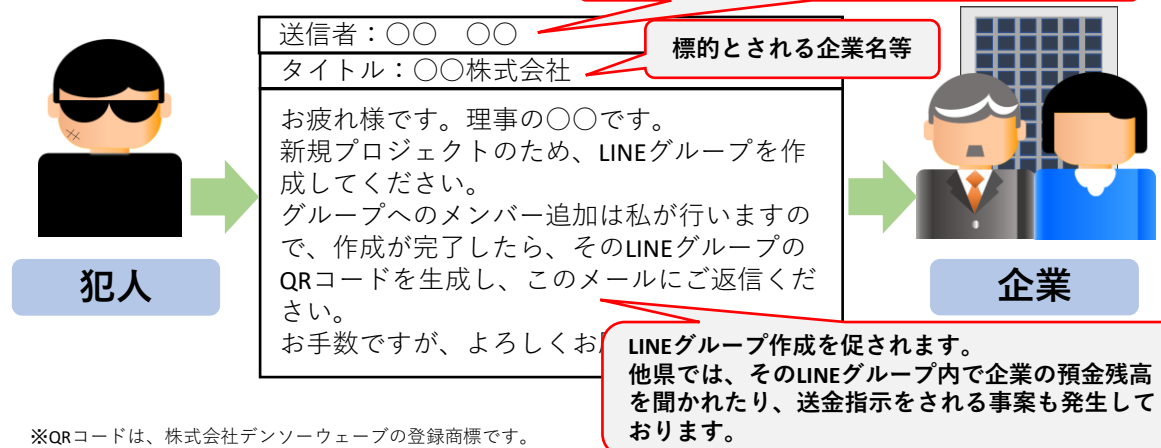
かごしまサイバー通信

令和8年1月7日
鹿児島県警察本部
サイバー犯罪対策課
Tel 099-206-0110

企業の役員を騙る、ビジネスメール詐欺が発生！

企業の役員を騙り、公開されている会社のメールアドレス宛に、「LINEグループを作成してください」といったメールが送信される事案が発生しています。

※役員を騙るメールイメージ



対策のポイント



▶ ポイント①：自組織内で周知する

企業のホームページ等に公開されたメールアドレスに対し、自組織内の人物を騙ったメールが送信される可能性があることを周知してください。

▶ ポイント②：上司等への報告と確認

上記メールが届いた場合、上司や部内の情報システム担当者に報告、確認するなど、慎重に対応しましょう。

▶ ポイント③：迅速な通報

万が一、相手の口座に振り込んだり、情報を入力・伝達した場合には、速やかに警察や銀行に通報してください。

もしも、被害に遭ってしまったら警察に
通報・相談を！ サイバー犯罪相談窓口



鹿児島県警サイバー犯罪対策課
公式X・Instagramアカウントはこちら

